

No. 2980

2021-2022年度

会 長 松村 秀一
幹 事 川口健太郎
R広報委員長 児嶋 正人



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
例会場 紀州有田商工会議所6F
事務所 〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立 昭和34年6月15日
ホームページ <http://www.aridarc.jp>
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

令和3年8月19日 第2981回

- ・ 会員卓話：木本 隆昭 君
「ロータリークラブで学んだ事」
- ・ ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

令和3年9月2日 第2982回

- ・ 会員卓話：橋爪 誠治 君 (直前会長)
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告 (第2980回例会)

開催日 令和3年8月5日(木)

点 鐘 [松村君]

ゲストの紹介 [川口幹事]

ゲスト: 御前 明良 氏 (有田市文化財保護審議委員)

今月の誕生・結婚祝 [川口幹事]

会員誕生: 岩本君 (8/30)
配偶者誕生: 井上恵実さん (8/8)
結婚記念: なし

おめでとうございます!!



ニコニコ箱の報告 [脇村SAA]

松村君: 有田市でも陽性者が増えているそうです。感染対策を今まで以上に行って今日は例会をさせていただきま。御前明良様、本日は有田RCへようこそお越し下さいました。お話、楽しみにしています。

川口君: 御前明良様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話、宜しくお願ひ致します。

上野山(捷)君: 御前明良様、ようこそ有田RCへお越し下さいました。ありがとうございます。

上野山(栄)君: 御前様、卓話よろしくお願ひいたします。

中元君: 御前明良さん、本日の卓話よろしくお願ひします。楽しみです。

橋爪(誠)君: 御前明良様、本日の卓話勉強させて頂きま。よろしくお願ひいたします。

井上君: 暑い日が続きますが、ご自愛ください。御前さん、本日の卓話よろしくお願ひします。

木本君: 御前明良様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

脇村君: 御前さん、ようこそお越し下さいました。本日の卓話よろしくお願ひします。

出席報告 [木本例会運営委員長]

本日の会員数27名
(出席規定免除会員8名)
出席会員数23名
(出席規定免除会員6名)

会長の時間 [松村会長]

「57年前」

連日熱戦が繰り広げられています。テレビで観戦しています。

1964年の東京オリンピックもテレビで観戦しました。当時私は小学校低学年でした。

深く記憶に残っているのはマラソンです。当時、男子だけの競技でした。

トップで競技場に入ってきたアベベ選手は全く疲れた様子が見えませんでした。2番手で戻ってきた円谷幸吉選手はいかにも最後の力を振り絞っているようでした。最後には追い抜かれて3位でゴールします。銅メダルです。最終の競技種目で日本人選手がメダルを獲得したことに日本中が歓喜したのではなかったでしょうか。

その3年数か月後、悲しい出来事がありました。彼が亡くなってしまいました。その後スポーツ界ではメンタルケア、メンタルヘルス、メンタルトレーニングといったものに注目するようになりました。

話は変わります。私が当時食べていたみかんは母がかつらぎ町の農家出身だったのでかつらぎ町のみかんでした。今はフルーツ王国として有名な町ですがそのフルーツたちに多分みかんは入っていないのではないのでしょうか。大人になってから初めて食べました。有田みかんです。外



見は普通のみかんでしたが味は全く別物でした。有田みかんはうまいとは聞いていましたが想像以上に美味しいみかんでした。このおいしいみかんについて後ほど御前明良氏にお話を伺いたいと思います。

幹事報告 [川口幹事]

報告連絡事項7件ございます。

1. 8月のロータリーレートは1米ドル＝110円。
2. ザ ロータリアンが届いていますので本日回覧致します。
3. 本日より前期会費の納付をお願い致します。
4. ガバナー事務局の夏季休暇が8月13日～15日まで連絡届いております。
5. 地区より青少年RLYA高野山事前研修の案内が届いております。
6. 地区より第2回DLI(ディスカッションリーダー研修)の案内が届いております。
7. 本日第2回定例理事会を例会終了後開催致します。



委員会報告

※地区ロータリー財団委員会 (中元委員)

2021年7月31日 (土) 13:30～15:30

けやきONE 4階会議室で行われた。

ロータリー財団地区補助金審査会に出向しました。21クラブより申請があり、数クラブの申請額を一部調整したのみで、全クラブからの地区補助金申請が承諾されました。



卓話



有田市文化財保護審議委員
御前 明良 氏

「有田みかん栽培システム」日本農業遺産登録について(2021年2月登録)

有田地方の系我では室町時代からみかんを栽培していたが、安土桃山時代に系我荘の伊藤孫右衛門が熊本県八代から「小みかん」を移入する。接ぎ木による増殖をおこない近郷の農家に栽培を奨励。江戸時代には、紀州藩の支援もあって「紀州みかん」の名で一世を風靡した。小みかん栽培技術は明治に入ってから「温州みかん」の栽培にも活かされ400年以上にわたる持続的なみかん栽培地域となった。

みかん栽培が盛んになった要因としては伊藤孫右衛門

の先見性に加えて、有田川を利用した物流の利便があったこと、紀州藩初代藩主徳川頼宣の山畑開墾の奨励と藩の販売拡大の協力が大きかった。

藩の収入は農村からの「年貢」であり、その対象は米・麦・粟・大豆である。農家の栽培面積と収穫物は検地によって把握されており、田畑への他の作物の栽培は禁止されていた。

年貢の上納を減らさずに済ますには雑木林の山を開墾して、みかんの樹を植えることであった。しかし雑木林を人力で畑にするには途方もない労力が必要であった。そこで農家にインセンティブを与えた。それは採れたみかんを上方で売ってお金を得ても税金はかけないということであった。耕作面積が少なく、貧しかった農民たちは農作業の合間に山を開墾し、石積みの段々畑が出来上がり、みかんの収穫による収益が増えた。

江戸時代の「年貢」は徳川家康が幕府を開いた時、農政・財政の基本として、「百姓ハ不生不殺、六公四民ハ常法也」と下知し、各藩も領地の農民への課税の基本となった。

年貢は村請制で庄屋が責任を持ち、荘屋は農家を五人組の共同責任として治めさせた。四分の中から一家の賄いをし、また家にかかる諸経費をねん出する農家の生活は大変貧しく、頼宣の免税措置は農家のみかん栽培の励みとなり有田地方は裕福な村となった。紀州藩のみかん出荷に対する課税は元禄11(1698)年まで免租であった。



写真 21 伊藤孫右衛門の顕彰碑(左)と紀州蜜柑発祥の地の碑(右)
左: 大正4年(1915年)設立。

閉会・点鐘

[松村会長]

次回8/26(木)は
休会です